

高知の気候特性～日平均気温の解析～

1170241 濱田 凌太郎

Local climate characteristics in Kochi prefecture

Hamada Ryoutarou

-Daily average temperature analysis-

東西に長く、南北は太平洋岸域から四国山地域まで含む多種多様な地域を含んでいる高知県内の各地域の気候特性を日平均気温に注目して調べた。データは気象庁の気象官署と地域気象観測所の観測値（1978～2015年）を使い、日平均気温を春、夏、秋、冬の四季に分け解析した。高知県の西部の宿毛、北部の本山、東部の安芸、中央の高知市に加えて、山間部の江川崎、大栃を含めて計6点を選び、それぞれの季節の日平均気温を評価し、高知市と他の地点との相関を調べた。高知市と宿毛の相関は春夏秋冬のどの季節とも相関係数は0.94以上（99%有意）であり、日平均気温そのものはほとんど同じように変動する。しかし、日平均気温は宿毛が冬に高知より0.6℃（95%有意）高く、春夏秋は逆に0.1～0.5℃（95%有意）低かった。高知市と本山の相関はすべての季節で相関係数は0.94以上（99%有意）であり、ここも日平均気温は同じような変動をしている。平均気温の差で見た場合、どの季節も高知市が本山よりも高く、最大は冬の4.4℃（99%有意）、最低は夏の2.3℃（99%有意）であった。高知市と安芸の相関はすべての季節で相関係数0.97以上（99%有意）と高く、気温の日の変動は非常に似ていた。平均気温の差は高知が夏は0.7℃（99%有意）高く、他の季節は高知が低く、安芸と高知の差はそれぞれ春0.1℃（95%有意）、秋0.3℃（99%有意）、冬0.7℃（99%有意）であった。